

2026

1

January
No. 395

広報 みち

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サメノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

12月18日に行われた
保育所での餅つき。

今年も子どもたちが元
気よく「ぺったん！ぺっ
たん！」と餅をついてい
ました。



あけましておめでとうございます

安全・安心な 町づくり

にへいとしひろ
三島町議会議長 二瓶 俊浩



明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。輝かしい令和8年の年頭にあたり、三島町議会を代表いたしまして、年頭の御挨拶を申し上げます。

振り返りますと昨年、令和7年中は、全国各地で予期せぬ災害が発生いたしました。台風や集中豪雨による河川の氾濫、土砂災害が頻発したほか、岩手県大船渡市や大分市などでは大規模な火災が発生し、尊い人命や多くの財産が失われる痛ましい被害に見舞われました。お亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。三島町においても災害は人ごとではありません。地域防災体制の強化と、町民生活の安全確保に向けた対策を最優先で推進してまいります。

国政に目を向けますと、長期化する物価高や燃料高騰に加え、昨年は米価の高騰が深刻化し、「令和の米騒動」とも呼ばれる事態となりました。これは農家や消費者だけでなく、地方の経済基盤にも大きな影響を与えています。また、令和6年の衆議院解散選挙、そして昨年7月の参議院選挙の結果、いわゆる少数

与党として難しい舵取りを迫られる状況となり、政治の展開は国民の大きな関心事となっています。何にしましても、国民生活を直視した政治、迅速かつ効果的な経済政策の展開を強く期待いたします。

海外情勢においては、ウクライナ・ロシア間の戦争や中東地域での深刻な紛争が続き、世界情勢は予断を許さない状況にあります。我々が享受している平和と安全は、決して揺るぎないものではないと改めて痛感いたします。

さて、町政に目を転じますと、令和7年は町民に希望と勇気を与える大変喜ばしいニュースがありました。三島中学校3年の二瓶伸悟さんが、第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の男子砲丸投げに出場され、全国の舞台で堂々と戦い抜かれました。その姿は町民すべての誇りであり、特に若い世代に大きな夢と目標を与えてくれました。

一方で、昨年は本町においても熊などの出没件数が例年になく増加し、町民生活に不安が高まりました。野生動物との共存と安全確保は、高齢化が進む地域における大きな課題であり、早急な対策強化が求められています。そして、本町が抱える最も深刻な課題は、少子高齢化による人口減少です。この問題に打ち

勝つため、令和8年は未来の担い手を育む環境整備と、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを両輪で進めます。時代に則した「しくみ」を構築し、生活の質の向上に注力してまいります。

また、令和8年度は福島県全体で「ふくしまステイネーションキャンペーン」が開催されます。この好機を活かし、奥会津編み組細工や只見川の雄大な自然など、本町の魅力を最大限に発信し、観光誘致と地域経済の活性化に繋げてまいりたいです。

三島町議会は、町の喫緊の課題解決に向け、執行部と車の両輪として真摯に向き合っており、町民の皆様からのご意見を賜り、より身近な議会として開かれた議論を深め、なお一層努力することをお誓い申し上げます。

結びに、新しい年が過去の教訓を活かした災害のない平穏な年となることを祈念いたします。三島町の限らない発展と、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶を申し上げます

社会の変化に対応した ふるさと創りをみんなの力で

やざわげんせい
三島町長 矢澤 源成



明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては健康やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は年明けての豪雪に見舞われ、災害救助法が適用される事態となりましたが、官民一丸となって除排雪に取り組み、特に自力で除雪などを行うことが困難な高齢者を全力で支援することができました。さらにいわき市役所の職員や県庁の土木部の職員の皆さんにご協力をいただき、また多くの排雪ボランティアの方に助けられて、町民の被害を最小限に抑えることができました。多くの皆様から温かいご支援をいただき、大きな心の支えとなったところです。

地域の安全を守ることは、町長の使命です。火災や水害等に対する防災意識を高め、地域防災力の一層の充実を図るため、国や県、隣接町村と連携しながら、防災対策の強化を図ってまいります。

さて、8月に三島中3年の二瓶伸悟さんが全国標準記録を突破し、全日本中学校陸上競技選手権大会砲丸投げに出場しました。少人数の学校から沖縄での全国大会で健闘したことは、町民に勇気と誇り、そして大きな感動を与えてくれました。台湾との交流についてですが、同

じ8月に国立台湾工芸研究発展センター主催の「台湾工芸聚」(クラウドイベント)に参加し、三島町の「生活工芸運動」について発表し、工芸品の物販、体験、実演を行うとともに、台湾の作り手の方々との交流を深めました。

さらに、教育、定住促進の面から台湾の教育実験校「樟湖国民小学校」の視察を行い、人口減少・少子化対策のヒントを模索することができ、今後の教育交流プログラムを検討しています。

11月には、三島町の生活工芸運動の師である名誉町民の宮崎清氏(千葉大学名誉教授)が創設された「アジアデザイン文化学会」国際研究発表大会が、本町を会場に開催され、台湾、韓国、日本などの支部から80名余りが来町されました。本学会は毎年異なる国・地域において国際シンポジウムを開催し、「デザイン文化」を核に学術交流をしており、地域の歴史・文化、地域振興、町づくりなどをテーマに、学術研究や実践の成果が発表されました。山びこ・生活工芸館・工人の館の3つの会場で、文化の違いや共通点、これからのアジアデザインの発展について見識を深めました。

学会の多くの参加者が町内に宿泊され、観光も楽しまれました。

これらの交流を今後の町づくりにさらに生かしていきたいと考えています。

三島町の良さは、豊かな自然に恵まれていることです。しかし、少子高齢化そして過疎化という大きな課題も抱えています。この美しい自然を守りながら、どのようにすれば、この町に活気を取り戻せるのか、皆様とともに知恵を出し合い、具体的な行動を起こして行く一年としたいと考えています。

ふるさと運動50周年を機に、三島町は、歴代の町長や多くの先輩職員の皆さんにより、日本の過疎地域の施策を牽引してきたプライドがあると実感いたしました。ふるさと運動や生活工芸運動、健康づくり運動を基礎として、新たな施策を嗣ぐことだと考えます。

野口英世の名言があります。「人生で変える事ができるのは、自分と未来だけだ、皆で挑戦するだけだ。」と。この言葉を胸に今後の町政に取り組んでまいります。

結びに、この一年が三島町にとって幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新春祝賀会

【5 km 中学男子 第1位】鈴木 康生 様	
川内の郷かえるマラソン	
【平面 特選】大竹 薫子 様	【平面 特選】布川 芽依 様
【平面 特選】栗城 花穂 様	【平面 特選】花穂 様
福島県中学校生徒徒造形作品秀作審査会	
【種目別「型」中学・高校生男子初級 第1位】石岡 健志郎 様	
福島県空手道選手権大会	
【男子砲丸投 第1位】二瓶 伸悟 様	
※第52回全日本中学校陸上競技選手権大会男子砲丸投出場	
福島県中学校体育大会陸上競技大会	
【走高跳 第2位】鈴木 響希 様	【コンバインドB 第2位】青木 大知 様
全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	
福島県読書感想文コンクール	
【準特選】矢澤 源真 様	
【準特選】浅見 鳳花 様	
福島県児童作文コンクール	
【準特選】佐久間 詩織 様	

生涯学習表彰

自治功労者・生涯学習等表彰

自治功労者表彰

新春祝賀会並びに自治功労者等表彰式は1月5日、町民センターで行われ、功績のあったの方々、矢澤町長から表彰状と記念品が贈られました。



「十七字で奏でよう」表彰

【最優秀賞】渡部 弥愛 様(4年)・渡部 美樹 様(母)	
「美坂には 数えきれない 星がある」	
「美坂山 見つめる先は 聖夜と子」	
三島中学校の部	
【最優秀賞】布川 芽依 様(3年)・布川 孝宏 様(父)	
「星空に 私の未来 聞いてみる」	
「星空と 君の未来は 無限大」	

社会を明るくする運動標語コンクール表彰

【特選】大竹 真太郎 様(6年)	
「今日もまた 笑顔で声かけ 地域力」	
【入選】佐久間 結人 様(6年)	
「あいさつで 笑顔の花も 満開だ」	
秦 直史 様(6年)	
「やめようよ その一言で 変わる未来」	
三島小学校の部	
【特選】布川 芽依 様(3年)	
「見ているよ 小さな親切 ありがとう」	
【入選】二瓶 悠夏 様(2年)	
「声かけで 心つながる 明るい町」	
熊谷 祐衣 様(2年)	
「地域の輪 もっと広げよう 挨拶で」	

特別功労表彰	
【前副町長】小堀 庄太郎 様(西方)	
功労表彰	
【教育委員14年】半澤 美由紀 様(名人)	
【統計調査員20年】小平 浩明 様(西方)	
【消防団員30年勤続】齋藤 大輔 様(宮下)	
板橋 康宏 様(中平)	
秦 庄嗣 様(大石田)	
顕彰	
【福島県文化振興財団顕彰】五十嵐 七重 様(西方)	
【全国高等学校総合体育大会ローイング競技大会出場】鈴木 美乃里 様(宮下)	
感謝	
【寄附】小馬崎 久代 様(富山県)	
長谷川 千代子 様(南会津町)	
滝谷建設工業株式会社	
代表取締役 田中 智仁 様	
佐久間建設工業株式会社	
代表取締役社長 佐藤 岩男 様	
明治安田生命保険相互会社	
坂下営業所長 小菅 菊仁 様	



▲ 町民センターで行われた新春祝賀会並びに自治功労者・生涯学習表彰の式

2 経済	
農 業	・農作物が安くておいしいのが三島町の魅力。 ・農家は高齢化が進んでいるので、次世代を指導できる人がいると良い。 ・会津地鶏がどこで食べられるのか分からないので、取扱店が分かるマップなどがあると良い。 ・遊休農地が増えているのが気になる。このままでは再度農地として活用することが困難になるので、対策が必要だと思う。
林 業	・まずは、町内で積極的に木材を使うことが大切だと思う。 ・担い手育成のためにも林業の楽しみややりがいを発信していくことが大事。 ・ゼロカーボンを目指し、間伐による森林整備を進めてほしい。 ・今の生活スタイルにあった桐製品の開発が必要だと思う。
商工・観光	・三島町ならではのお土産購入や食事を楽しめるお店が少ない。 ・外国人観光客が増えてきたので、もっと楽しんでもらえる工夫をしたい。 ・美坂高原で星空観測会や星空ヨガが行われていて良いと思う。もっといろいろなことに活用できると良い。
関係人口	・色々なイベントを企画して地域外の人を呼び込んでほしい。 ・SNS を活用して、町の魅力を PR してほしい。 ・ものづくりの魅力を通して移住者や関係人口が増えていく町にしたい。 ・ふるさと納税の返礼品は、体験型のメニューを追加するなど、町を楽しんでもらえるものは良い。
再生可能エネルギー	・住宅用太陽光パネルは雪国でもプラスになるのか等、もっと情報がほしい。 ・再生可能エネルギーで電源を確保して有害鳥獣対策をするなど、他県の事例を参考に上手に活用したい。 ・三島町単体では出来ることに限りがあるように感じる。会津地方一体で取組みを進めると良いと思う。

3 基本政策 (文化)	
歴史・文化	・できるだけ多くの地区行事に参加していきたい。 ・町の自然や伝統に誇りを持ち、情報発信をしていくことが大切。 ・これから歴史・文化を継承していく子どもたちの意見が反映される体制が整うと良いと思う。 ・町の歴史や文化に関する知識を持っているひとが少なくなってしまうので。若い方に伝承してほしい。
生活工芸	・まずは、自分たちが生活工芸品を使うことが大事 ・冬のものづくり教室など、気軽に編み組細工等をにふれあえる環境があると良いのでは。 ・工人まつりは三島町を象徴する大切なお祭り。これからも続けてほしい。
生涯学習	・公民館で行われている運動教室は様々な内容があって良いと思う。音楽鑑賞なども充実するとうれしい。 ・町民運動会がなくなったので、町民の多くが参加できるイベントがあると良いな。 ・山びこでの行事を充実させて、もっと活用が進むと良いと思う。

3 基本政策 (環境)	
協働のまちづくり	・高齢者にとって負担となる雪かきや草刈りなどを地域で協力して行う体制づくりをしていきたい。 ・ゴミの減量化のため、地区での集まりの時などに分別の方法を改めて説明すると良いと思う。 ・資源ごみをもっと出しやすくしてほしい。フリマやバザーを開催するなど、リサイクルが進むまちになってほしい。
防災・防犯・感染症対策	・消防団の団員確保のためにも、団員の負担軽減が必要だと思う。 ・定期的な防災・防火訓練を行って、町民の意識を高めることが大切。 ・防犯カメラが設置されると安心。
ICT (情報通信技術)	・デジタルの情報を町民が受け取れるよう、高齢者等へのサポート体制があると良い。 ・スマホに情報を配信してもらえると便利。 ・時代が変わり便利なものも増えているが、高齢者はついていくのが大変だと感じる。
交 通	・町営バスが充実していて助かる。 ・ガソリンスタンドが新設され、使いやすくなった。町民割もありがたい。 ・免許を返納する人が多くなっていく中で、今後の交通体系を見直す必要があるのではないか。 ・子どもたちが通学路としている場所は速度を落とし、安全運転を心掛けてもらえるよう工夫してもらいたい。
道路・上下水道	・今後、もっと一人暮らしの高齢者が増えたとき、除雪問題をどう解決していくのか不安。 ・水の安全について、普段から情報が分かるようになっていっていると良いと思う。
行財政運営	・新しい建物をつくるより、今使っていない施設の利活用の検討が必要なのではないかと感じる。 ・職員の業務量が多いように感じる。負担を軽くし、コンパクトな役場を目指してほしい。

多くの皆様にアンケートにご協力いただきありがとうございます。

三島町振興計画 (第五次後期基本計画) 策定に向けたアンケート調査集計結果

現在、町では令和8年度からスタートする第五次後期基本計画の策定に取り組んでいます。前回の選択式回答編に続き、記述回答編について報告します。

記述回答編

調査概要	
調査目的	現在の町施策に対する評価や今後取り組むべき施策等について調査し、後期基本計画策定の参考とする。
調査対象	18 歳以上の町民 1,239 人
回答率	回答数：684 人（郵送：614 人、WEB：70 人） 回答率：55.2%
世代別回答率	「10 歳代」 20.0% (3/15) 「20 歳代」 37.0% (27/73) 「30 歳代」 48.1% (39/81) 「40 歳代」 57.7% (71/123) 「50 歳代」 40.6% (52/128) 「60 歳代」 64.1% (132/206) 「70 歳代」 71.1% (217/305) 「80 歳以上」 43.8% (135/308) ※カッコ内は (回答人数 / 配布人数)

1 基本政策〔暮らし〕	
出会い・結婚	・もっとフランクに人と交流ができる取り組みがあると良い。 ・交流事業の進め方について町民を交えて意見交換をする場があると良いと思う。 ・交流イベントの新規参加者を集める工夫が必要だと思う。
子育て支援	・子ども一人に対して大人の人数が多いから、みんなで育てていきたい。 ・子どもが遊べる場所がもっとあると良い。 ・子育て世帯の支援の充実や、子ども同士が交流できる場が必要だと思う。 ・小児科がないので子どもが病気になると大変。出産も町外に行かないといけない。 ・一時預かりや土曜保育の条件が少し緩和されるとうれしい。 ・子育てを終えた世代が子育てを手伝える場があっても良いのでは？
学校教育	・地域学習として、ものづくりが体験できるのは三島町ならではの教育内容なので良い。 ・子どもたちが様々な人と交流を深められるよう、広域的な活動ができる環境づくりが必要だと思う。 ・熱心な先生が多く、一生懸命子どもと接してくれてありがたい。 ・支援が必要な子どもを含め、さまざまな子どもの個性や状況に合わせた対応が大事だと思う。
移住・定住	・移住者の人柄が良い。 ・空家が多いので、木造住宅のイメージが悪くなっている気がする。 ・各地区に空家が多く見られ、雪等での倒壊が心配、景観も良くないと思う。移住者に住んでもらうなど利活用を進めてほしい。 ・三島町の自然、文化、食生活などをもっと PR して移住者の増加につなげてほしい。
健康づくり	・健康に関する事業に若者は参加しにくいイメージだが、子育てや仕事を担う世代の健康づくりも大切。 ・健康づくり＝運動だけでなく、「農作業」、「ボランティア」、「仕事」など普段の生活で体を動かす機会を作ると良い。 ・身近な食から意識することが大事。料理教室なら日常生活ですぐに活用できるので、地区で実施してほしい。
高齢者・障がい者福祉	・元気な人も、介護が必要な人も、みんなが交流できる場所があると良いな。 ・車がないので買い出しが大変。サポートしてくれる制度があると良い。 ・ヘルパーさんの人数が少なく、ケアマネージャーさんも町内に少ないので、将来自分が介護を受けるときのことを考えると心配。 ・健康づくりと連動した事業が必要なのは。予防のためにも体を動かすことが大事だと思う。
医療体制の確保	・在宅医療が充実しているが、人手不足で継続できるのか心配。 ・生まれてから最期まで安心して医療が受けられる町にしてほしい。 ・夜間や小児科など、診療科目が増えるともっと安心して生活できる。 ・宮下病院で受診した際、窓口、看護師、先生などみなさん丁寧で親切でとてもよかった。

ポッチャ大会・世代間交流会の実施！

11月29日、森の校舎「カタクリ」体育館において、「ポッチャ大会」を開催しました。

本大会は、健康づくりや世代間交流をとoshしたコミュニケーションの活性化を目的としており、16チーム約50名もの参加がありました。決勝戦では、「チーム老連」が11-0という圧倒的なスコアで優勝を飾りました。

大会の後には、「カタクリ」の食堂において、「世代間交流会」が開催されました。この交流会は、仲間づくりやコミュニケーションの活性化を目的としており、町民や町内に勤務する方24名が参加されました。

料理は町内飲食店のケータリングによる温かいメニューが並び、参加者から好評を得ました。また、ビンゴゲームも行われ、世代や組織の枠を超えて大いに盛り上がり、会場は笑い声に包まれました。

両イベントを通して、スポーツと交流会を組合わせたことで、参加者同士のつながりが深まり、地域全体のコミュニケーションが活性化する有意義な一日となりました。



▲「チーム老連」と「みっこばあ」による決勝戦



▲ 世代間交流会の様子

三島町民生・児童委員 感謝状贈呈式・委嘱状伝達交付式の開催



▲ 退任される民生児童委員の皆さん



▲ 新任・再任民生児童委員の皆さん

12月1日、町民センターにおいて、民生・児童委員の感謝状贈呈式・委嘱状伝達交付式が実施されました。

退任される6名の委員には、厚生労働大臣より感謝状が、また福島県民生児童委員協議会より退任慰労の楯が贈呈されました。

続いて、新任・再任される15名の委員には、厚生労働大臣より委嘱状が、福島県知事より担当区域委嘱状が交付されました。

矢澤町長からは、退任される委員の方々への労いの言葉と、また、新任・再任される委員の方々への期待が述べられました。

新任・再任民生児童委員	宮下		荒屋敷・桑原・中平	大登・川井	桧原	滝谷	大谷	浅岐・間方	西方	大石田	名入・小山・高清水	滝原・早戸	主任児童委員(全域)
	志田 義美	湯田 恭子											
			小島 英子	長谷川 洋子	片山 智子	目黒 千春	五十嵐 修一	五十嵐 市子	小松 豊	本名 与四郎	飯塚 敦子	五十嵐 信一	渡部 規子
											五十嵐 宏子	五十嵐 信一	佐久間 絹江

町の未来を想う子どもたちからの質問 三島町次世代の議会開催！



▲ 次世代の議会の小・中学生議員の皆さん
議長：布川芽依 さん（中央）



▲ 二瓶俊浩議会議長からの講評

【三島町次世代の議会】

子どもたちが議会運営を体験し、自分の意見をまちづくりに活かす「主権者教育」の推進と、地域の課題を自ら考える力を育むことを目的として実施しています。

11月27日、三島町議会議場において「三島町次世代の議会」が開催されました。
三島中学校3年生4名と、三島小学校6年生9名の合計13名が議員として参加し、そのうち5名が一般質問を行いました。
一般質問では、クマ対策を含む人と動物の共存、移住・定住に向けた町づくり、SNSによる情報発信、伝統工芸のPR、公園整備やイベントの充実など、町の未来を見据えた提案が幅広く出されました。
町側からは、現状や課題、今後の方向性について矢澤町長が丁寧に応え、再質問には各課長が応えました。

議会終了後、二瓶俊浩議会議長からは、「今回のように本物に触れることが大切であり、自分を変えていく貴重な経験だったと思う。堂々として立派な議会だった。」との講評がありました。
また、参加した小・中学生からは、「三島町の課題を考えるきっかけになった。今後に生かしていきたい。」「自分が考えた取組だけでなく、答弁から多くの視点をいただいた。」「もう少し質問すればよかった。」などの感想が寄せられました。
次世代の議会での意見や気づきは、小・中学生の皆さんだけでなく、町民が一緒になって取り組み、今後の町づくりに生かしてまいります。



▲ 答弁する矢澤町長



▲ 質問する二瓶伸悟議員



▲ 質問の挙手をする石岡健志郎議員

質問議員・氏名	質問事項
①浅見 鳳花（中3）	「人と動物が共に安全に暮らせる三島町」について
②石岡 健志郎（中3）	「住みたいと思ってもらえる町づくり」について
③二瓶 伸悟（中3）	「SNSや動画配信を活用した観光・情報発信」について
⑤鈴木 秀生（小6）	「三島町のよさをPRする取組」について
⑥若林 晴琉（小6）	「町民が楽しく触れ合いながら、健康づくりをしたりきずなを深めたりする取組」について

「おばあちゃんの味」料理教室の開催



12月2日、三島町の郷土料理を後世に引き継いでいくことを目的とした「おばあちゃんの味」が、町民センターにおいて開催されました。

田んぼの学校で収穫したもち米を使用したあんこ餅、納豆もちをはじめ、こづゆ、切り干し大根煮、笹の葉三角巻きといった郷土料理を、おばあちゃんの体験談・地産地消のお話を聞きながら、三島小学校5・6年生が調理しました。

食事会では全校児童、学校の先生や教育委員会の方々も交え、皆と一緒に、歓談しながら味わいました。

三島保育所発表会の実施

12月6日、三島保育所の発表会が行われました。

会場には多くのご家族や町民の皆さんが訪れ、こどもたちの発表を見守りました。

当日は、りす組・うさぎ組・ぱんだ組・きりん組のこどもたちが、これまで練習を重ねてきたダンスや演劇を披露しました。大勢の観客を前に、少し緊張した様子も見られましたが曲に合せて元気よく踊ったり、役になりきって大きな声で演技したりと、こどもたちの成長を感じ、笑顔あふれる発表会となりました。

客席からは、楽しそうに表現するこどもたちに向けて終始温かい拍手が送られ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



▲ 劇「おおきなかぶ」



▲ 舞「白虎隊」

「みんなのクリスマス音楽会実行委員会」による音楽会の開催！



12月7日、町民センター大ホールで、みんなのクリスマス実行委員会による、「みんなのクリスマス音楽会」が開催されました。

普段音楽に接することの少ない三島町で、子どもたちをはじめ、町の方々が音楽に触れて交流を深めてもらえればとの思いから、当日は、ピアノ・歌の及川久美子さん、クラシックギターの小関佳宏さん、ヴァイオリンの佐藤実治さんによるプロの生演奏が披露されました。また、クリスマスソングのほか、子どもたちに人気の歌も次々と演奏され、演奏が終わるたびに客席からは大きな拍手が送られました。

実行委員会の方からは、「会場全体で音楽を楽しむことができてよかった」と、今回の音楽会に集まった多くの方々に音楽をとおして、交流と笑顔を届けられたことを喜ぶ声が聞かれました。

実行委員会の皆さん、素敵な音楽会を開催していただきありがとうございました。

持込資源物 引取資源物 回収ルールまとめ

持込可能な資源物

以下の不用品を三島町役場で回収しています。役場前の回収日は、日にちが近づきましたらお知らせ版で告知します。また、前日と当日に防災無線でもお知らせします。

種類	例	回収場所	時期
小型家電	PC、スマートフォン、ケーブル類、プリンターなど	窓口	開庁時（平日 8:30-17:15）
		役場前	年1回、5月～7月
電池類	リチウムイオン電池	窓口	開庁時（平日 8:30-17:15）
衣類	清潔な衣類 めいぐるみ タオル	役場前	年3回、5月～11月
陶磁器	ガラス、木類を除く	役場前	年2回、6月～11月

※衣類の回収は、小型家電または陶磁器の回収日と同じ日に実施しています。

種類	例	回収場所	時期
紙の資源ごみ	段ボール・雑誌・牛乳パック・雑がみ	ごみ収集車置場（国道252号三島SS（ガソリンスタンド）の向かい側）	常時
ペットボトル	ペットボトル	〃	〃

引取資源物

年2回行っている「農機具・その他ごみ等の有料収集」では、家電4品目（テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機）と、農機具等を処分できます。あらかじめ申請書を各戸に配布しますので、事前の申し込みをお願いします。家電4品目と一部収集体は有料で、当日にお支払いいただきます。

種類	例	時期
家電4品目	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	年2回、6月～11月（申請のあった各戸を訪問）
農機具	コンバインその他 農機具類（鉄もの）	年3回、5月～11月

引っ越しの都合などで上に書いた方法での処分ができない時は、購入した店舗またはリサイクル事業者に連絡して処分してください。

リサイクル事業者	種類	住所	連絡先
会津丸三	家電4品目	会津若松市河東町八田大野原205	0242(94)2041
釜屋会津事業所	家電4品目	会津若松市町北町大字始字見島78	0242(23)1874

冬の生ごみ問題への備え

冬季は雪のため、畑などで生ごみを堆肥化するのが難しくなります。そこでお勧めしたいのが、微生物の力で生ごみを分解するキエーロやコンポストバッグです。簡単に始められて手間もかからないのでご検討ください。

三島町は、生ごみの削減を進めるため、コンポスト機材の購入に掛かる費用を補助します（購入費の半額、最大5千円）。キエーロやコンポストバッグも補助の対象になりますので、ぜひご活用ください。

詳しくは三島町役場町民課にお問い合わせください。

☎ 町民課町民係 ☎ (48) 5555



▲ コンポストバッグの例
（出典：ローカルフードサイクリング株式会社）

【早戸】早戸のお楽しみ会（12月8日）

橋本 光五郎さん

5月19日から月2回のペースで集まっていた早戸地区の「お楽しみ会」も、例年どおり12月をもって今年度の活動を終わりました。

今年は特に一つの材料に決めるのではなく、PPバンドやクラフトテープなど好きな材料を使って思い思いのものを作ってきました。また、今まで参加していなかった方の「お試し参加」もあり、来年度は参加者が増えることも期待できる1年ともなりました。

今年度の最後の活動となった12月8日には、恒例となっているお弁当を頼んでの昼食会を開催し、活動の締めくくりとしました。

来年度の活動は、ゴールデンウィーク明けの暖かくなった時期からの再開を予定しています。



【桧原】桧原新そば会（12月14日）

阿部 和彦さん

12月14日は、新そば会でした。今年はクマ出没の対策として夕方開催から昼の時間帯に変更して、地域ふれあい・世代間交流を目的として多目的集会所にて行われました。

ボランティア桧原が主催し、呼び掛けをしたところ27名の希望者があり、また、今回は昨年の反省を活かし、出前の募集をし、1名の希望者がいたため、自宅までお届けしました。

当日は地区の蕎麦打ち名人、鈴木隆さんによる「挽き立て」・「打ち立て」・「茹で立て」の三立て地粉十割手打ちのざる蕎麦・具だくさんのかけ蕎麦を満喫してもらい、他に女性部の作ったけんちん汁や、かき揚げ天、様々な野菜の漬物も大好評で幼児・児童から高齢者一同みんなで手料理を味わいました。

令和7年を振り返り、野菜づくり・天候対策・健康管理について語り合うすばらしい交流会となりました。



【早戸】早戸地区のクリスマス会（12月20日）

橋本 光五郎さん

12月20日、早戸地区で恒例となったクリスマス会が12時から早戸生活改善センターで開催されました。今年の参加者は20名（内3名は仕事の都合等でお弁当だけの参加）。新たに早戸に移住された若い方々も参加してくださり、地区全体で集まる機会が少なくなって来た中で、貴重な懇親の場となりました。

クリスマスケーキやワインの差し入れもあり、お弁当を食べながら楽しい時間を過ごすことができました。またこれも恒例となったクリスマスプレゼントをもらい、もらったプレゼント内容でまた会話も弾みながら、今年のクリスマス会も散会となりました。



ご寄附ありがとうございます

株式会社サンライズから町へ寄附金



▲ 左から、二瓶光正会長、矢澤町長、村崎雅彦代表取締役

12月12日、本町の企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）として、株式会社サンライズより寄附を受けました。

町長室で寄附贈呈式が行われ、矢澤町長から、会長の二瓶光正氏及び代表取締役の村崎雅彦氏へ感謝状が贈られました。

今回は、株式会社サンライズが、日頃三島町にお世話になっていることへの感謝としてご寄附いただきました。

町長からは、「本町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、このような厚意をいただけることは、今後の町づくりの大きな支えとなります。このような応援を励みに、より良い地域づくりに一層取り組んでまいります」

いただいたご寄附は、町が進める「地域資源を生かしたしごとづくり事業」に活用する予定であり、地場産業の活性化と雇用創出・起業支援等に取り組んでまいります。

三島町の企業版ふるさと納税に関する情報はこちら



【西方】ボランティアいわくら会による配食サービス弁当（12月2日）

本名 与四郎さん

12月2日に、ボランティアいわくら会の皆さんによる「配食サービス弁当」作りが、ふるさとセンターで行われました。

当日は、星ハツ子さん、二瓶トヨ子さんなどのベテランの会員12名が午前9時前から調理室に集合し、早速、配食サービス弁当の調理に取りかかりました。献立のメニューは、ごはん（小梅）、煮物（車麩・さつま揚げ・人参・大根・こんにゃく・舞茸）、揚げ物（鮭フライ・海老フライ・レタス）、卵焼き、里芋餅、絹厚揚げのあんかけ（しめじ・ミックスベジタブル）、ほうれん草、もやしのツナ缶和え、果物（みかん）、シュークリームと色どりの良い、お腹を満たすには十分に豪華な盛りつけとなりました。

今回は、85歳以上のひとり暮らしの高齢の方を対象に24食の弁当が作られました。元気に師走を過ごしていただけるように、栄養バランスに配慮しながらの弁当がテーブルいっぱいになりました。

作り上げられた弁当は、副会長の小松豊さんなどの協力のもと、一軒一軒、家庭を訪問し、手から手へと手渡ししながらの、心温まる配食サービス弁当となりました。心待ちにしている高齢の方が大半で、感謝の気持ちで受け取っていました。



「手作りの 配食サービス ぼくも欲しい」
「ボランティア いわくらスタッフ ありがとう
みんな辞めずに 生き生き元気」



▲ 早朝の月と八ヶ岳



▲ 星空案内人資格証明書

地域おこし協力隊
「昂」
すばる
茂田 龍揮

年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。昨年は多くの町民の方にお世話になりました。協力隊二年目を迎える今年は、限られた時間を大切に過ごしていきたいと考えております。本年もよろしくお願ひします。

師走の初旬、星空案内人の資格を取るために八ヶ岳の山麓に行つて参りました。2泊3日の合宿形式の講習を修了し、星空案内人になることができました。天体望遠鏡の使い方を学ぶ講習では、野外で夜空の星を観察しました。清少納言の枕草子にも書かれている

星、昂を実際に望遠鏡で見ると、たくさん星が星団をなして青白い光を放っている様子が分かり、千年前の平安の貴族達もいま私たちが見ている星空と同じ星空を眺めていたのだなど、不思議な感慨を覚えました。

三島町は、東京から近い距離にあつて美しい夜空を眺められる貴重な場所です。星空案内人の資格を取得したことを機に、星空の保護に係わる業務を推進していきます。また、公私を問わず星が好きの人と繋がっていったらいいなと思います。三島町では、一緒に星の魅力を伝える仲間を募集しています。星空案内人の資格取得を補助する制度もありますので、仲間になりたい方はお声掛けください。

三島小3・4年生木工教室開催 ～マイ箸と定規をつくりました～



マイ箸づくり

11月の下旬に三島小学校を訪問し、3・4年生を対象に木工教室を行いました。今回の制作内容は、3年生が「箸」、4年生が「定規」です。

まずは、材料として使う「朴木^{ほおのき}」について説明しました。朴木は大きな葉っぱが特徴の木で、「ホウ葉味噌に使われる葉っぱ」と聞くと、ピンとくる人もいるかもしれません。木材としては少し珍しい緑がかった色をしていて、反りにくく、削りやすいという特長があります。町内に多く自生しています。

作業は、四角い板から始まり、鉋^{かん}と「治具^{じぐ}」という道具を使って、板を少しずつ削り、目的の形に上げていきます。小学生のみなさんにとっては、鉋を使うのはなかなか大変だったようで、苦戦する場面もありましたが、講師の先生やお友だちと協力しながら、最後までしっかり作り上げることができました。

完成した箸や定規はもう使ってみましたか？使ってみた感想、ぜひ聞かせてくださいね。



▲ 朴木の葉



▲ 定規削り作業



▲ 完成品

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより ⑤4 くものづくりの伝承



vol.106

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

冬の食中毒に注意!!

【ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒とは…？】

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。感染力が強く、集団発生を起こしやすいのが特徴で、子どもやお年寄り、基礎疾患があるなど抵抗力の弱い方は重症になりやすいので注意が必要です。

症状は主に嘔吐や下痢ですが、中には感染しても無症状や軽い風邪程度の人もあり、症状が軽くても体内にウイルスが持っているため、周りの人に感染してしまうことがあります

【感染経路は主に2つ！】

- ① 食品からの感染
 - ・ 感染した人が調理などをし、ウイルスが付いた食品を食べたことによる感染
 - ・ ウイルスの溜まった加熱不十分な食品を食べたことによる感染
 - ※ 二枚貝の加熱不足により感染するケースが例年多くみられています。
- ② 人からの感染
 - ・ 感染した人の便や嘔吐物から手などを介した感染や飛沫などによる感染



予防のポイント

手洗い	調理前後、食事前、トイレの後、感染した方の汚物を処理した後など、こまめに石けんでよく洗いましょう。
食品の「加熱」調理を！	ウイルスの活性を失わせるには中心部が85℃～90℃で90秒間以上の加熱が必要です。
調理器具や調理台を「清潔」に保つ！	まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後すぐに洗いましょう。

【感染に備えておくの良いもの】

- ・使い捨て手袋
- ・マスク
- ・ペーパータオル
- ・ビニール袋、
- ・塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

※本の貸出し期間は2週間です。
次に利用される方のためにも、返却期限をお守りください。

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



最後の一色 (上・下)

和田 竜 著

直木賞候補作で映画化もされた『のぼうの城』や、本屋大賞受賞作『村上海賊の娘』等、数々の名作を生み出してきた著者に筆をとらせたのは、戦国時代の若き武将・一色五郎。17歳で戦場に立ち、織田信長の前に突如現れた“怪物”が、いま令和に蘇る！

戦国時代でも最も混沌とした天正七年から三年間における、戦場の迫力、人間の情熱と野望、その全てが本書につまっています。

●図書の紹介



命の燃やし方

鈴木 大飛 著



赤きんイソップ童話で死体と出会う

青柳 碧人 著

国環研だより 第 89 回

地球温暖化対策の国際会議「COP30」ってなんだろう

三島町のみなさま、こんにちは。今回は以前にもご紹介した「COP」について、おさらいをするともに昨年 11 月に行われた COP30 についてご紹介します。

COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）は、地球温暖化への対応を話し合う国際会議で、「コップ」と呼ばれています。1995 年から毎年開かれており、2015 年の COP21 では世界全体で平均気温の上昇を 1.5℃以内に抑えるという初めての世界目標「パリ協定」が採択されました。

昨年 11 月にブラジルのベレンで開催された COP30 は、パリ協定から 10 年の節目となる会議でした。日本からは石原環境大臣が参加し、2050 年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにするという日本の方針を改めて表明しました。



▲ 出典：COP30 公式 web サイトより

日本は会場に「ジャパン・パビリオン」を設け、再生可能エネルギー、省エネ、衛星データの活用、廃棄物リサイクルなどの技術を紹介しました。多くの国の閣僚が視察に訪れ、日本の技術力が注目されました。環境研も参加し、地球観測衛星いぶき GW で得られた気候変動の影響のデータなどを紹介しました。

COP30 は、これまでの「交渉中心」から「実施中心」へと移行することを確認した会議でした。今後は、各国が掲げた目標をどのように具体的に進めていくかが焦点となります。国際的な協力の枠組みが整えられたことで、次の数年

は「実行の時期」と位置づけられています。こうした国際会議の成果は、私たちの暮らしにもつながっています。COP31 はトルコのアンタルヤで開催予定ですので、みなさまも「COP」という場で世界がどんな議論をしているのか、ぜひ関心を持って見守っていただければと思います。

2 月頃に町役場にも協力いただきながら、町内の森林について町民の皆さまのお考えを伺うアンケート調査を実施予定です。森林について改めて考えるきっかけとなる調査にできればと考えておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

【参考文献】

- ・環境省 HP「国連気候変動枠組条約第 30 回締約国会議（COP30）、京都議定書第 20 回締約国会合（CMP20）及びパリ協定第 7 回締約国会合（CMA7）が開催されました」
https://www.env.go.jp/press/press_01793.html
- ・A-PLAT「COP 関連情報」
https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/cop/
- ・COP30 公式 Web サイト
「Over USD 5.5 billion Announced for Tropical Forest Forever Facility as 53 Countries Endorse the Historic TFFF Launch Declaration」
<https://cop30.br/en/news-about-cop30/over-usd-5-5-billion-announced-for-tropical-forest-forever-facility-as-53-countries-endorse-the-historic-tfff-launch-declaration>



筆者 常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第120回

現三島町域の近代における「警察機構の変遷」

令和 7 年、会津坂下警察署三島駐在所が建て替えられ、9 月 2 日に開所式が行われました。今回は、現三島町域における警察機構の変遷を紹介します。

明治 8 年（1875）の『若松縣一覽概表』を見ると、当時、県内に 6 つしかない警察所の一つが西方に設置されていたことがわかります。若松県の出張所も西方にあり、その日誌には、警察所に関する内容も記載されています。

宮下に巡査駐在所が設置されたのは、宮下小学校『郷土誌』によれば明治 22 年（1889）4 月のことです。31 年（1898）6 月に宮下で大火があり、駐在所も類焼、駐在所の巡査は酒井富三郎家の隠居宅に仮住まいしたといひます。西川村外二ヶ村組合（後の宮下村）は駐在所を建築落成したいと議会に諮り、翌 32 年に建てられることになりました。町には巡査駐在所の『建築取扱規程』と『工事受負契約証』が遺されています。

その後も改築等があったかもしれませんが、資料として遺っているのは昭和 13 年（1938）に巡査駐在所が改築されたという記録で、10 月に小学校講堂において落成式が挙行されています。しかし、17 年 4 月 11 日に起こった「宮下大火」でこの駐在所は焼けてしまいました。役場日誌を読むと、大火翌

日に役場内に臨時の駐在所を設置、7 月 29 日に駐在所仮庁舎へ移ったとの記述があります。翌 18 年（1943）7 月 28 日には新たな巡査駐在所の棟上げ、11 月 28 日に竣工式が行われています。

西方に巡査駐在所が設置されたのは、西方小学校『郷土誌』によると、明治 29 年（1896）か 30 年で、それまでは川西村（後の西方村）は宮下にあった巡査駐在所の管轄でした。巡査駐在所建築のために土地を借り上げた 31 年 8 月 2 日付の契約書があり、大字西方字居平 81 番地に駐在所が設置されたことがわかります。その後、大正 11 年（1922）に字上原 3622 番地に改築移転しました。なお、同年 7 月から高田川口間に警察電話が架設されることになり、西方村でも 8 月 1 日に駐在所に設けられたといひます。宮下郵便局や組合村役場に電話が開通したのは昭和 4 年（1929）のことであり、用途が限定された警察電話とはいひえ、その数年前に架設されていたことがわかります。

昭和 50 年（1975）4 月 1 日、宮下と西方にあった駐在所は、「三島駐在所」として統合され宮下のみとなり（以降、西方は平成 4 年 3 月に廃止となるまで「連絡派出所」、同 52 年には現在の場所に移転しました。

（町史編さん室）



▲ 昭和 14 ～ 16 年か 高田警察署西川村巡査駐在所前で警防団の記念写真（細堀貫一氏撮影）

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎（52）2165

宮下病院長から新年の御挨拶

あけましておめでとうございます。昨年中は地域の皆さまより多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は在宅医療部門を病院内へ移設し、外来・入院・在宅、そして地域の関係機関との連携が一層円滑になりました。また、令和9年度末の開院を目指し、新施設の造成工事も着実に進んでおります。医療資源が限られる中、地域の皆さまと協力しながら、今後も切れ目のない医療の提供に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

福島県立宮下病院 院長 横山 秀二

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(11月分)

小松 義弘 様 (埼玉県)
森田 俊明 様 (愛知県)
五十嵐 誠幸 様 (埼玉県)
伊藤 俊郎 様 (神奈川県)
渡部 直美 様 (福島県)

寄附件数 21 件 計 234,000 円

1月分納税のご案内

【納期限 2月2日(月)】

▼ 町県民税 (普通徴収) (第4期)

▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第6期)

忘れずに納付してください。

問 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

長谷川 竹子 様 (97才・西方)
坂内 アサ子 様 (85才・西方)
萩野 則子 様 (84才・荒屋敷)
酒井 功 様 (88才・宮下)
角田 正 様 (93才・川井)
秦 昭夫 様 (88才・大石田)

町の人口と世帯 (12月1日現在)

人口	1,290	増減数	-5	出生	0
男	653		-4	死亡	3
女	637		-1	転入	1
世帯	665		-2	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

松原はつづクラブ	高清水・小山 いきいきサロン
1月13日(火) 午前10時から 松原集会所	1月22日(木) 午前10時から 高清水集会所
大石田友遊サロン	サロンなごみ
1月14日(水) 午前10時から 大石田集会所	1月22日(木) 午前10時から 西方ふるさとセンター
川井友愛サロン	ほがらかサロン
1月16日(金) 午前10時から 川井集会所	1月23日(金) 午前10時から 森の校舎カタクリ
サロンないり	間方いきいきクラブ
1月19日(月) 午前10時から 名入集会所	1月23日(金) 午前10時から 間方集会所
滝谷和楽塾	ひまわりサロン
1月20日(火) 午前10時から 滝谷集会所	1月26日(月) 午前10時から 町民センター
	浅岐あったかサロン
	1月27日(火) 午前10時から 浅岐集会所



町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

坂内 康明 様 (西方)
萩野 智成 様 (荒屋敷)
荒川 俊延 様 (川井)
酒井 康雄 様 (宮下)
秦 千代栄 様 (大石田)

問 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

消防署からのお知らせ

「文化財防火デー」とは？

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

文化財防火デーの制定は、昭和24年(1949年)1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいており、火災や震災などから文化財を守ろうと全国で防火運動が展開されます。

三島町には町指定の有形文化財が数多くあります。その多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者の皆さんはもちろんのこと、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意し、大切な文化財を後世に引き継いで行きましょう。

また、この時期は、暖房器具の取扱い及び除雪作業の事故に十分注意してください。

年末年始特別警戒実施中

令和7年12月15日(月)～令和8年1月15日(木)

会津坂下消防署 三島出張所

☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

ニセ警察詐欺にご注意を！！

警察を名乗って電話をかけ、SNSに誘導するなどして「逮捕する」などと言って脅す、警察手帳や逮捕状を示すなどと、捜査等を名目にお金をだまし取る「ニセ警察詐欺」が多発しています。

・警察が、電話で捜査対象となってることを伝えることはありません。

・SNSで、警察手帳や逮捕状の画像を送ったり、ビデオ通話をすることはありません。

犯人は、+（プラス）から始まる国際電話番号を使用していることがあります。

国際電話の発着信は、無償で休止できます。

また、次のような電話番号の偽装も確認されています。

・正規の警察署の電話番号

・末尾が0110

怪しい電話がかかってきたら、
落ち着いて一旦切り、最寄りの警察署にご相談ください。

福島県特定最低賃金額の改定のお知らせ

1 地域別最低賃金

福島県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

	最低賃金額 (時間額)	効力発生年月日
福島県最低賃金	955 円 ↓ 1,033 円	令和8年 1月1日

※「2 特定最低賃金」が適用される労働者を除く。

2 特定最低賃金

福島県内で次の業種に該当する事業場で働く労働者に適用されます。

業 種	最低賃金額 (時間額)	効力発生年月日
自動車小売業 (二輪自動車小売業 (原動機付自転車を 含む)を除く。)	1,020 円 ↓ 1,033 円 ↓ 1,098 円	令和8年1月1日～1月7日 令和8年1月8日
非鉄金属製造業	996 円 ↓ 1,033 円	福島県最低賃金適用
輸送用 機械器具製造業	1,005 円 ↓ 1,033 円	福島県最低賃金適用
計量器・測定器・ 分析機器・試験機等	955 円 ↓ 1,033 円	福島県最低賃金適用
電子部品・デバイス・ 電子回路等	955 円 ↓ 1,033 円	福島県最低賃金適用

詳しくは福島労働局賃金室のホームページをご確認ください。



問 福島労働局賃金室 ☎ 024-536-4604

第53回

雪と火のまつり

令和8年(2026年)

2月21日(土)

【会場】
交流センター山びこ前広場

【開場】
13:00 ~ 19:00

「伝統行事の再現」
国指定重要無形民俗文化財
「三島のサイノカミ」



ふるさと運動50周年記念 X テレサ・テン没後30周年

同時開催

三島町の歩みをふりかえる

特別企画展を開催予定です。

詳細はHPをご覧ください。

お問い合わせ:

三島町役場 0241-48-5533

「協力: 財団法人鄧麗君文教基金会」



【交通のご案内】

磐越自動車道 会津坂下 IC より車で約30分
JR会津西方駅より徒歩約20分



【お問い合わせ】雪と火のまつり実行委員会事務局(三島町観光協会) ☎0241-48-5000

【WEBサイト】三島町公式ホームページ <https://www.town.mishima.fukushima.jp/>

三島町観光ポータルサイト <https://www.town.mishima.fukushima.jp/site/kankou>

【主催】雪と火のまつり実行委員会 【共催】三島町公民館

【後援】福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・ふくしまFM・株式会社ラジオ福島・電源開発株式会社・極上の会津プロジェクト協議会・只見川電源流域振興協議会

三島町公式
ホームページ



三島町観光
ポータルサイト

